

TNR活動とは?

野良ねこを捕獲して(Trap)、不妊手術をし(Neuter)、元の場所に戻し(Return)、地域ねことする活動。地域の住民たちが一代限りの命を見守ると同時に、将来的に飼い主のいない野良ねこがいなくなるようにする活動です。行政で殺処分されているねこの9割は子ねこのため、TNR活動をすすめることは殺処分ゼロにもつながります。不妊手術を済ませたねこは、耳先に、桜の花びらを思わせるV字のカットが施されているのが特徴です。



石垣島のさくらねこ

南の島発、ねこを幸せにするプロジェクト!

石垣島のサザンゲートブリッジの先にある人工島は、おびただしい数の捨てねこが暮らす島。過酷な環境を生き抜くねこを救いたいと、島の人々が立ち上がりました。ねこ編集部は、石垣市による「南の島の猫アイランド事業」に密着取材。公益財団法人どうぶつ基金のサポートのもと行われた、官民協働による大規模TNRの一部始終をお届けします。

写真・文 / 中村仁美



SAVE the CAT!

取材協力：石垣市 市民保健部 環境課
石垣市 建設部 港湾課
公益財団法人どうぶつ基金
<http://www.doubutukikin.or.jp/>
石垣島しっぽの会
<http://ishigakishippo.blog.fc2.com/>



どうぶつ基金の獣医による一斉不妊去勢手術

『ねこ』2012年春号で紹介した石垣島のねこ問題。石垣島本島からサザンゲートブリッジという青い橋とつながる人工島に、おびただしい数のねこが遺棄され、繁殖を繰り返していました。人工島の敷地は、石垣市が管理する緑地公園。本来は市民の憩いの場ですが、家庭ゴミや犬やねこの不法投棄に悩んでいます。

この問題や島内の犬ねこ問題を解決したいと昨年春に誕生したのが、市民によるボランティア団体、石垣島しっぽの会。会の働きかけで、石垣市と協働による「南の島の猫アイランド事業」が決定しました。この事業は、緑地公園で暮らす野良ねこに不妊去勢を施し、一代限りの命を見守りながら、公園本来の姿に戻すというもの。環境省、沖縄県、八重山獣医師会などの協力も集まり、日本初の大規模な官民共働となりました。

この一大プロジェクトをサポートするのは、平成24年度日本郵便の年賀寄付金の助成を受けて全国で約2500匹の「のみみ先カット猫不妊手術」を無料で施している、公益財団法人どうぶつ基金。2005年より地域ねこ無料不妊手術を開始し、日本全国のTNR活動を支援し続けています。今回の事業では、人工島で暮らすねこたちの一斉不

Timeline "TNR ACTIVITIES"



日本全国から貸し出された捕獲用のトラップ。多くの人の善意が集まりました。



目ヤニで目がふさがった小さな子ねこ。会場では不妊去勢手術以外の医療も行なわれます。



第一会場となったのはサザンゲートブリッジ近くの小さなフェリーターミナルの1棟。



譲渡対象の子ねこも、譲渡後の繁殖を防ぐため早期不妊去勢手術を行いました。



八重山毎日新聞をはじめ、現地のメディアが連日、一斉不妊去勢手術を報道。



どうぶつ基金の佐上ご夫妻と山口先生は、交通宿泊費や食費など自費でのボランティア参加。



手術ができない小さな子ねこは、里親が見つかるまでボランティアがお世話をします。

石垣市、沖縄県、環境省、市民による協働

一斉不妊去勢手術が行なわれたのは10月14日～18日。獣医師が現地入りしたときには、すでに市民ボランティアが捕獲したねこが会場に集まり、すぐに手術が始まりました。執刀するのは派遣の獣医師2名と、無償で応援にきたどうぶつ基金の顧問、山口武雄獣医師。捕獲と術後のケアのほか、手術前の毛刈りと消毒、不妊去勢手術済みの目印となる耳先のカット、ワクチン注射、駆虫薬の塗布など、手術補助は市民ボランティアが担当します。

会場は小さなフェリーターミナル。台風が近付く悪天候とはいえ汗が止まらないほどの室温です。長机の手術台にパイプ椅子、手元を照らすのは安価なデスクライト。限られた設備の中、獣医師たちは淡々と手術を続けます。所要時間はメス20分、オス5分。息をつく間もなく、次の手術が始まります。

妊去勢手術が不可欠。そこで、活動に賛同する獣医を現地に派遣し、協力獣医に支払う不妊去勢手術その他の外科手術や薬品代など治療費全額を負担するほか、TNR活動の現場で培ってきたノウハウを提供しました。なお、この手術費用の他に必要な、獣医師の交通宿泊費、ワクチン代、駆虫代などは沖縄振興特別推進交付金事業の交付金、138万円が充てられました。

next



石垣島しっぽの会の代表をつとめる早川始さん。今回の協働のまとめ役となりました。



最低限の道具だけを使う診療により、動物病院がない地域でのTNRも可能です。



捕獲から手術補助、術後のケアは約40名の市民ボランティアが担当しました。

小さな命を救い殺処分ゼロの島に



捕獲後の公園で見つかった子ねこ。今回の事業の日程に合わせて、新たに捨てられたねこもいるのではと疑う声も聞かれました。

Timeline "TNR ACTIVITIES"



1匹でも多くのねこのTNRを行なうために、手術と並行して、捕獲班の活動は続けられています。



路上でひき殺される動物を救いたいとパトロール活動を続ける辻維周さんも本事業に参加。



一斉不妊去勢手術に先駆け、人工島の一部に立入禁止区域が設けられました。

初めて人の優しさを知るねこ



怯えるように身を寄せていた子ねこも、人の手に触れ、人の優しさを知るのかもしれない。



離乳を終えたばかりの子ねこの兄弟。野良とは思えないほど人馴れし、甘えてきます。



手術後のねこを間違いない元場所に戻すため、特徴を記したカードが付けられています。

next



肛門から釣り糸とおもりをぶら下げたねこの直腸壁には釣り針が。手術は無事に成功しました。



どうぶつ基金のメンバーと派遣獣医師が石垣市役所を訪れ、中山市長に現状を伝えました。



家族で参加したボランティアも。息の合った様子で子ねこの哺乳を担当するご夫婦。



温暖な石垣島では、10月半ばといえ妊娠中のねこも。生まれたての子ねこも見つかりました。

不妊去勢手術を行なった人工島のねこは78匹。一般的に、70%のTNRがすめば数は維持され、その後、年に数回、残ったねこの避妊去勢を行ない、その割合を増やしていけば、自ずと寿命で数が減るといわれています。人工島のねこは100匹には満たないため、無事に目標数は超えました。春号の取材時は、餌やりが禁止され、飢えたねこが多い印象でしたが、現在は、マナーを守った餌やりが認められ、ずいぶんとふっくらとした姿に。しかし、ゴミやねこを投棄する住民は後を絶たず、釣り人が捨てた釣り針を飲み込んで、肛門から鉛のついた糸をぶら下げたねこも捕獲されました。未捕獲なが



不妊去勢手術を行なった人工島のねこは78匹。

182匹のねこを救う



こちらの二匹は、市民ボランティアの方が里親になってくれることに!

ら、矢がさざったねこの姿も確認され、動物虐待も懸念されます。もし、現状の環境のままであれば、5年もすれば元の状態になるのはあきらか。危険なゴミの投棄や犯罪を抑制するためにも、監視カメラの設置を望む声も聞かれました。会場には視察に訪れる人も多く、石垣市の中山義隆市長もそわった人工島が、ゴミやねこの糞で不衛生になっていることを危惧していた市長は、「動物と人間との共存、同じ場所で生活できるような状況を作るためにも衛生環境をしっかりつくりたい」と考え、南の島猫アイランド事業を決定しました。この事業は、一見、ねこ

Timeline "TNR ACTIVITIES"



術後のねこたちは、皮下補液、ワクチン注射、ノミダニ駆除薬の塗布などが行なわれます。



ねこ編集長(左)は撮影の合間に手術補助のボランティア。主に耳カットを担当。



人を怖がるねこは、ケージの上にネットをかぶせて出し、ネット越しに麻酔注射を行います。



石垣のねこは美猫揃い!しっぽの会では保護したねこの里親募集も行なっています。

好きに喜ばしいものだと思われるかもしれませんが、将来的には野良ねこの数が減るため、ねこを不快に思う人にこそ、大きなメリットがあります。不妊去勢手術により、発情期の鳴き声もなくなり、糞尿の臭いも緩和され、美しい町づくりにもつながっていきます。

限られた器具しかない会場では、現地の獣医師のサポートほど心強いものではありません。大規模な協働により、人工島のねこの不妊去勢手術は二日間完了。急速、他の地区の野良ねこの手術も行なわれることになりました。

期間中の最終的な総手術数は、オス80匹、メス91匹の計171匹。まだ手術ができないほど若い11匹の子ねこは、しっぽの会で里親を探すことになり、計182匹のねこたちが、事業の恩恵を受けました。



手術が終われば、一代限りの命を大切にもらえる暮らしが待っています。

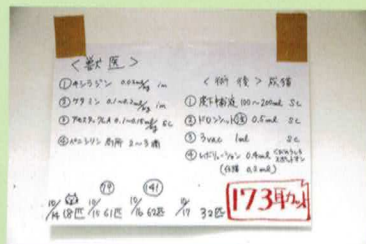
next



眼球が飛び出した子ねこ。獣医師による処置の後、今後のケアをボランティアに指導しました。



釣り針の除去手術が成功したねこ。現在は、譲渡先の埼玉県で家ねことして暮らしています。



薬剤の指示と、毎日の手術数を記した用紙。実際には4日間で171匹のねこの手術が完了。



人工島の暮らしに慣れた子は、いつもの暮らしに戻り、のびのびとした様子です。



どうぶつ基金の佐上さんの陣頭で、人工島に手術を終えたねこを一斉リリース。

一代限りの命を人工島にリリース



リリースの翌早朝、人工島にはねこの様子を見に来た石垣市環境課の野底さんの姿が。



茂みの中に一目散に走ったねこは、なじみの木で爪とぎを開始。手術後も元気いっぱい！



一斉不妊去勢手術4日
目の朝、手術後の健康が
確認されたねこの一部を、人工
島に戻すことになりました。市
民ボランティアと石垣市の職員
により、ねこが入ったケージが
運ばれていきます。このケージ
をはじめ、トラップ、フード、タ
オルやトイレシートなどの物資
が、日本全国から寄贈または貸
与されたものです。今回、会場
に足を運んだ市民ボランティア
は約40名ですが、その数倍もの
人々が参加していることを実感
せずにはいられません。

どうぶつ基金の佐上理事長が
最初の一匹をリリースすると、
報道陣によるシャッター音が響
きます。一目散に走り出す子も
いれば、その場に立ち止まり、
連れて帰って欲しいといわんば
かりに、人の足にすり寄る姿も
かつては家庭で飼われていたね
こにとって、人工島での暮らし
はどんなに厳しいことでしょう。
今回の一斉不妊去勢手術は、
TNR活動の始まりにすぎま
せん。一代限りの命が天寿を全
うできるように、市民が協力し
て世話をすると同時に、これ以
上、不幸なねこが増えないよう、
捨てねこをなくさなければなり
ません。家で飼うねこも不妊去
勢手術を行ない、最後まで面倒
を見る覚悟が求められます。

Timeline "TNR ACTIVITIES"



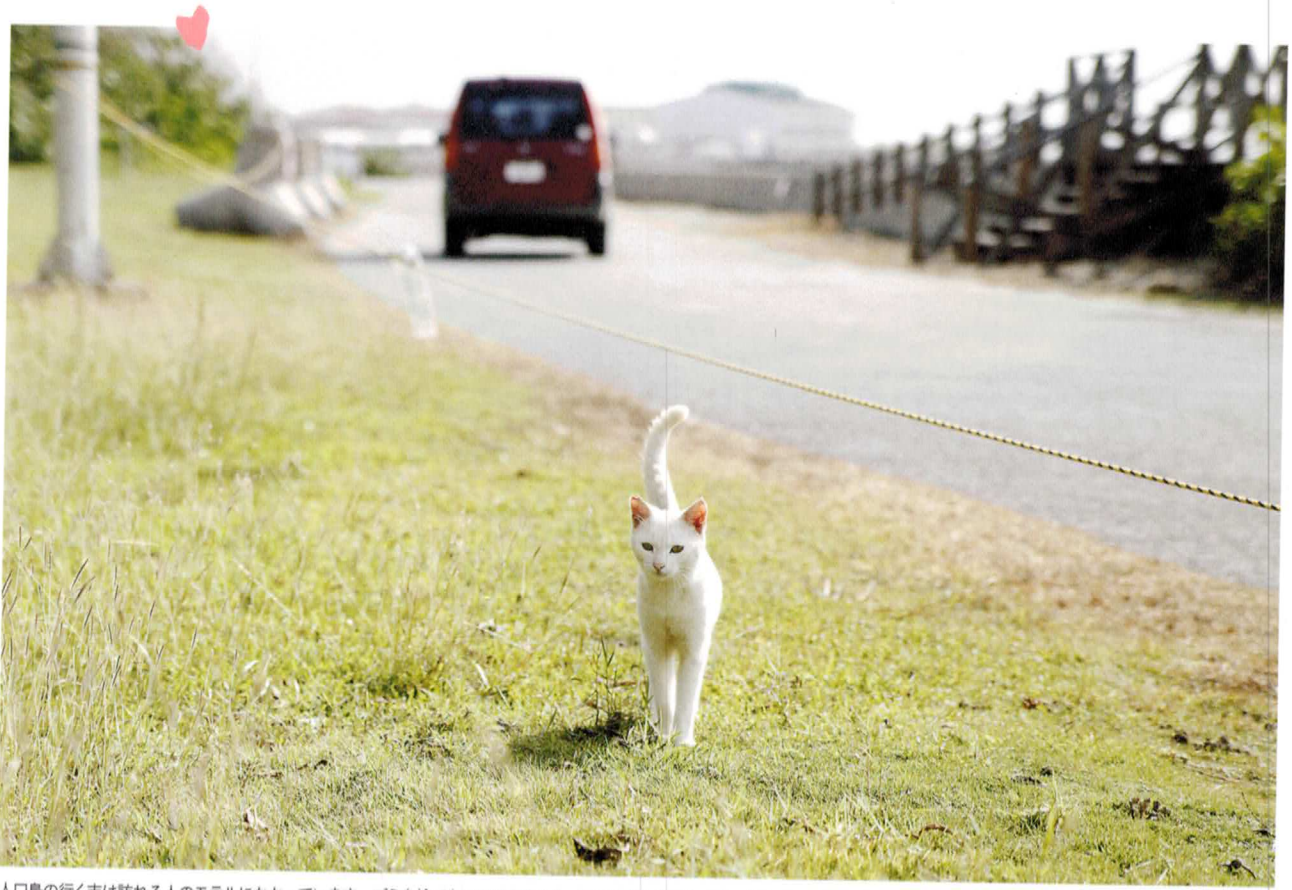
耳先をカットしたねこが不妊去勢手術済みの目印だと、各新聞を通じて島中に伝えられました。



再会を喜ぶかのように挨拶をするねこたち。春号に登場したねこたちも元気な様子で感激！



手術済みのねこが続々と人工島に運ばれリリースされるその時を待ちます。



人口島の行く末は訪れる人のモラルにかかっています。ゴミを捨てないのももちろん、ねこに餌をあげたら食べ終わるまで見届けて、食べ残しやゴミを持ち帰る優しさが求められています。



リリース後にこの事業に携わった仲間たちで記念写真を撮影。この時ばかりは、百数十匹のねこたちを不妊去勢手術した達成感と共に、連日の疲れが吹き飛びました。

手術後のねこの目印として、桜の花びらのような切り込みが。ひと目で手術済みとわかるだけでなく、オスメスの見分けが付きまします。石垣島では、右耳の切り込みはオス、左耳の切り込みはメスにしました。



石垣島に咲いた可憐なさくらねこ

リリースが終わった翌日の早朝、緑地公園に行くと、人懐っこいねこたちが出て来てくれました。不妊去勢手術が済んだ証として、オスねこは右の耳、メスねこは左の耳がV字に切り取られています。その愛らしい小さな耳は、まるでさくらの花びらのようです。どうぶつ基金では、不妊去勢手術をした地域ねこを「耳先カットねこ」と表現していましたが、今回の事業より「さくらねこ」と呼ぶことを決めました。石垣島で花開いたさくらねこの前線を北上させ、日本全国に官民協働のTNR活動を普及させたいという思いが込められています。

春号の取材で、編集部がサザンゲートブリッジを渡って見たのは、身勝手な人間が作った悲惨な光景でした。今もまだゴミや落書きが散乱しているもの、優しい人々が咲かせたさくらねこを見ると、明るい未来を思い描くことができます。またいつか、石垣島を訪ねたときには、幸せに歳を重ねたさくらねここと再会できることを願っています。



©Etsuko Sagami



石垣島にでかけたら、かわいいさくらねこたちに会いに行ってくださいね！

©Etsuko Sagami



ねこと遊びに島へ来た家族連れの姿も！敷地内にねこトイレ専用の砂場もできたそうです。

©Etsuko Sagami



12月のはじめ、どうぶつ基金の佐上ご夫妻が人口島へ視察に。たくさんのねこがお出迎え！

小さな南の島から始まった、
行政と民間の協働によるTNR活動。
このムーブメントが桜前線のように北上し、
日本中にさくらねこが花開きますように。



どうぶつ基金では、犬ねこの殺処分ゼロを目指し、官民協働のTNR活動に力を入れていきます。野良ねこ問題を解決したいと考える自治体は、ホームページ <http://www.doubutukikin.or.jp/> よりお問い合わせください。



今回の写真はぜんぶスマホで撮ったもの。最近のケータイの画質はマジですごい。雑誌で使えちゃうんだもん。

僕の場合、仕事で撮るのは一眼レフ。ケータイ写真はメモ代わり、または徒然なる日常だ。でも、こうして集めてあらためて感じたのは「ケータイ写真って、一眼レフのそれとはえらい個性がちがうんだな」ってこと。簡単に言えば、一眼レフ＝脳みそ感性フル回転。ケータイ＝なんも考えず撮った写真。純粋に「お、いーじゃん」な時に本能

スマホ
Smartphone